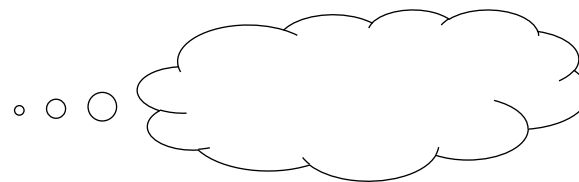


エッコロ講座「知って得する認知症学習会」を開催しました



2022年1月21日(金):ドーンセンター 参加人数 92名(実参加 30名、オンライン 62名)

連携する福祉団体である大阪高齢者生活協同組合に講師を依頼し、エッコロ講座として共済の推進も呼びかけました。参加の目的は「家族が認知症になった時のために」が最も多く、身近な問題として捉えていることがわかりました。「認知症の症状」ではなく「その人」を見るという接し方が印象に残りました。対応の仕方など数多くの事例を経験している講師の話はわかりやすく、多くのヒントを得ることができました。また、当日参加の1名がエッコロ共済の加入につながりました。

以下の通り、講師より回答してもらった質問の中から主なものを紹介します。

※エッコロ講座とは健康、食、子育て、福祉などをテーマに開催し、たすけあいの輪を拡げていくことが目的です。講師料、会場費、託児費用などをエッコロ共済より助成しています。

① 認知症の母が毎日の不安の電話をかけてくる。どう接したらよいか。

認知症の進行により不安が増大すると、被害妄想や幻覚・幻聴に発展してしまう事があります。何度も同じ話を繰り返し聞いたり言ったりする事は家族様にとってはとても大変だとは思いますが、同じ話でも何度も「大丈夫」だと伝えて差しあげてください。

② 施設選びのポイントは？

要介護3以上の方は、特別養護老人ホームへの入所対象になりますが、どこの施設も予約数が多いので、長い方は2年程待つておられる方もいます。料金も1番安価で入れるので申請される方も多いです。また、実際は介護度4や5程度の重度の方や緊急性の高い方(家族の介護負担が大きいなど...)が優先になります。認知症の進行がある方はグループホームをお勧めしています。他、介護度の低い方や、すぐに入れる施設をお探しの方は、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅をお勧めしていますが、料金は高くなるので家族様間でよく相談される事を伝えています。どの施設にしても、立地条件や施設のサービス内容・雰囲気・料金など、いくつか(できれば本人様と)見学に行かれて決められるのが良いと思います。

③ 行方不明者が施設に入った場合その費用は誰が払いますか？

「身元不明＝資産がない」という事で、生活保護の対象として生活保護費で対応される自治体が多いですが、自治体によっては、特別給付金(仮)などのような形から拠出される場合もあります。いずれにしても税金を使われる事になります。ちなみに、のちに見つかった場合、今までにかかった費用全額を家族様に請求される場合もあります。経験上では、家族が捜索願を出してから2泊施設で保護された方がいました。その場合、費用は実費全額支払われました。認知症による徘徊での行方不明は夕方から出かけてしまう事が多いです。徘徊のタイミングやGPSの対策など、まずは行方不明者を出さない対策を強化しないといけません。

④ 介護負担の軽減について具体的な対応が知りたいです。

介護が必要になる時、それは突然やってきます。本人様が最期はどうしたいか、誰が主に介護をするのかは、できれば本人様が元気な間に本人様の意向も交えて話し合いを行っておく事をお勧めします。私たちはよくエンディングノートの活用や、人生会議などをお勧めしています。

⑤ 介護している方の悩みなどを聞いて参考にしたい。

認知症の事でお知りになりたいのであれば、各地でやっている認知症カフェやボランティアに参加されると、より具体的に知れると思います。デイサービスなどではたまに家族会などされているところもあるのでご参考にしてください。